

東京都立特別支援学校の給食

幼児・児童・生徒が個々の発達段階で獲得する摂食嚥下機能に対応した形態（軟らかさ、形）で、給食を出すようにしています。食材も、できる限り全形態で同じものを使用するよう工夫しています。

※肢体不自由特別支援学校と知的障害・視覚障害・聴覚障害特別支援学校の一部で提供しています。

普通食		通常の食事に準じる。 食材は若干軟らかめに仕上げる	
後期食	咀嚼機能の発達期	奥歯に送ってつぶせる硬さ（軟らかいが舌ではつぶせない軟らかさ）。前歯で噛み取れる硬さ。 食材によっては（きのこ類、たけのこ、トマト、豆類など）、ペースト状または介護食用寒天、くず粉を使用し、まとまりをつける。	
中期食	押しつぶし練習期	形があり、舌でつぶせる程度の軟らかさ。 食材によっては（きのこ類、たけのこ、トマト、豆類など）、ペースト状または介護食用寒天、くず粉を使用し、まとまりをつける。	
初期食	飲み込む機能の発達期	粒がなく、ややまとまりのあるペースト状。 基本的に中期食をミキサーにかけて裏ごししたもの。 水分や一部の食材は介護食用寒天・くず粉を使用。	

調理の仕方や盛り付け、味付けは学校ごとで異なる場合があります。
ここで、各学校で特に違いが出やすい後期食のカレーをいくつか御紹介します。



食材を別々に調理し、ソースの上に食材を盛り付ける学校(ソースは食材の上からかける学校もあります)



食材を別々に調理し、調味料や煮汁に直接混ぜて盛り付ける学校

東京都立特別支援学校の形態別調理

	普通食	後期食	中期食	初期食
特徴	通常の食事に準じる。 食材は若干軟らかめに仕上げる。	奥歯に送ってつぶせる硬さ（軟らかいが舌ではつぶせない軟らかさ）。	形があり、舌でつぶせる程度の軟らかさ。	粒がなく、ややまとまりのあるペースト状。
主食（ごはん）				
主菜（鶏の唐揚げ）				
副菜（野菜の胡麻酢和え）				
汁もの（沢煮椀）				

※写真はあくまでも一例です。学校によって異なることがあります。

形態食として調理しづらい食材は、他の食材に置きかえている。（例：もやし→かぶ）
25

（半）固形化牛乳

介護食用寒天を使って、牛乳をゼリーのように固めたもの。スプーンでかき混ぜるとなめらかなヨーグルト状にもなる。



かじりとり用の食材

口唇や歯を使って食べ物を取り込む機能を獲得するため、右の写真のような、にんじんの他、きゅうり等の野菜でも行う学校もある。



形態食の特徴

- 提供方法は大きく分けて2種類を標準にしている。

①食材を別々に調理してお皿に盛り付けた後、上から料理別のソースをかけて提供。

②食材を別々に調理した後、調味料や煮汁に直接混ぜて提供。

- 汁ものは、汁（液体）と具を分けて提供したり、普通食のように汁と具を一緒にして提供したりする。

後期食から初期食までの汁ものには食材とは別に汁（液体のみ）もつきます。



～形態食ができるまで～ (魚のテリーヌ・ムース)

①下処理

生の肉や魚：フードプロセッサーにかけ、筋がない状態にしてハンバーグやテリーヌ状にします。



生のままフードプロセッサーにかけます。
ある程度回したら、くず粉等のつなぎや
水を加えます。

さらに裏ごしします。

テリーヌとは
もともとフランス語で土鍋のことをさし、
この鍋に肉や魚のすり身を入れて焼いた
り、蒸したりした料理をいいます。

②調理



バットや流し缶で蒸します。

中期食（テリーヌ状）
の出来上がり。

③再調理（初期食の調製）

中期食を調理済み専用のフードプロセッサーで再調理してペースト状にし、初期食を作ります。



中期食をフードプロセッサーにかけます。

初期食（ムース状）の出来上がり。

④配膳



全員、個別の対応となるため、対応内容に
注意し、盛り付けます。

学部・学年ごとにワゴン、または食堂の
テーブルに配膳していきます。



東京都学校保健研究会



団体の概要

本会は、東京都公立学校、その他の学校の教職員およびその他の学校保健関係者等の会員282名（令和4年度11月現在）で構成される研究団体である。また、全国養護教諭連絡協議会に加盟するとともに、小学校部会は東京都公立小学校長会、並びに中学校部会は東京都中学校教育研究会に加盟している。

現在、東京都教育委員会研究推進団体・東京都教育センター長より教育研究普及事業の認定を受け、研究会を年5回（夏期2回）実施するとともに、喫緊の健康課題をテーマに調査研究を行っている。

研究会の目的

学校保健の一層の充実、発展を図るために、研究および研修することを目的とする。



リスクマネジメント・
危機管理に関する研修

研究の内容

○学校保健に関する講演会などの開催：6月、8月、2月、配信

○学校保健に関する調査研究

令和4年度（1年目）

テーマ「多様な性のあり方の理解と養護教諭の対応」

○会員相互の研究発表や実践発表 8月夏期研修会にて

○学校保健関連団体との連携、協力、情報の収集

全国養護教諭連絡協議会、（公財）日本学校保健会、（公社）日本学校歯科医会、日本学校歯科保健・教育研究会 等

保健室でのフィジカル
アセスメントの演習



成果と課題

調査研究活動、研修会をとおして、日々の実践を振り返り共有しながら、課題解決に向けて協議検討することで、養護教諭や学校保健関係者の資質向上やスキルアップにつながった。感染症対応も含め、適切な判断や迅速な対応が常に求められているため、最新の情報を収集し今後も資質向上に努めたい。

今後の活動予定

- ・2月研究会（2月2日 全水道会館）
調査研究発表及び、講評・講演会
- ・令和4年度研究会誌「花」発行
- ・令和4年度東京都中学校教育研究会会報発行

※ 詳細は本研究会ホームページをご参照ください。

代表者・連絡先

代表者：足立区立竹の塚中学校

校長 齋藤 由美子

連絡先：港区立御成門小学校

主任養護教諭 大竹 千登勢

TEL:03-3431-2766

研究会ホームページ：

<https://www.togakuho.com>



東京都学校保健経営研究会

1 目的

東京都教育委員会教育研究推進団体支援事業における推進団体として、学校保健活動及び学校経営、学校運営、学校教育に関する研究・研修を行い、会員の資質向上を図るとともに健康教育推進の人材育成を図る。

2 構成

本研究会は、養護教諭経験のある管理職・学校保健に関心のある管理職・主幹教諭（養護教諭）・主任養護教諭・養護教諭・その他学校保健に関心のある教職員・医療関係者をもって構成する。

3 令和4年度の取組

（1）研修会の開催

第1回 令和4年6月25日

講演：「管理職に期待すること ～これからの教育課題を通して～」

講師：千代田区教育委員会 教育長 堀米 孝尚 氏



第2回 令和4年8月9日

講演：「組織を動かすリーダーのあり方とは」

講師：グロービス経営大学院 教授

株式会社グロービス ファカルティ本部

シニア・ファカルティ・ディレクター 林 恭子 氏



第3回 令和4年10月8日

演題：「トイレから考える子どもと学校」

講師：NPO 法人 日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤 氏



第4回 令和4年12月10日

演題：「子どもの心の健康と自殺予防」

講師：帝京平成大学 健康メディカル学部

心理学科 准教授 荘島 幸子 氏



（2）実践報告

学校現場の様々な取組や活動の成果、課題について共有・協議し、実勢の対応について検討する機会となった。子供たちの成長につながる学校保健活動の充実に務める。

- ・「早寝早起き朝ごはん習慣定着への取組」
- ・「アフターコロナを見据えた不登校への対応」
- ・「コロナ禍における取組」等

4 成果・課題

学校経営や学校運営、組織マネジメント、健康教育について見識を深め、学校経営を担う管理職、また学校保健活動を主とした学校運営を担う養護教諭としての資質向上を図ることができた。所属する組織において共通する課題を解決するために今後も研修・研究をより一層充実させる。

東京都学校保健経営研究会

目的

東京都教育委員会教育研究推進団体支援事業における推進団体として、学校保健活動及び学校経営、学校運営、学校教育に関する研究・研修を行い、会員の資質向上を図るとともに健康教育推進の人材育成を図る。

研究会 構成

本研究会は、養護教諭経験のある管理職・学校保健に関心のある管理職・主幹教諭（養護教諭）・主任養護教諭・養護教諭・その他学校保健に関心のある教職員・医療関係者をもって構成する。

研修報告



2022.6.25

「管理職に期待すること
～これからの教育課題を通して～」
千代田区教育委員会 教育長
堀米 孝尚 氏



2022.10.8

「トイレから考える子どもと学校」
NPO 法人
日本トイレ研究所 代表理事
加藤 篤 氏



2022.8.9

「組織を動かす
リーダーのあり方とは」
グロービス経営大学院 教授
株式会社グロービス ファカルティ本部
シニア・ファカルティ・ディレクター
林 恭子 氏



2022.12.10

「子どもの心の健康と自殺予防」
帝京平成大学
健康メディカル学部
心理学科 准教授
荘島 幸子 氏

実践報告

学校現場の様々な取組や活動の成果、課題について共有・協議し、実際の対応について検討する機会になった。子供たちの成長につながる学校保健活動の充実に努める。



成果 課題

学校経営や学校運営、組織マネジメント、健康教育について見識を深め、学校経営を担う管理職、また学校保健活動を主とした学校運営を担う養護教諭としての資質向上を図ることができた。所属する組織におい

共通する課題を解決するために今後も研修・研究をより一層充実させる。

東京都学校保健経営研究会 HP
<https://kanna.promole.net/>

